

アスタの

Sèkmès スパイス！ 第6回



Sèkmès (セクメース) は「幸運の」という意味

Labas! (ラパス!) 国際交流員のアスタです。

三原山を見れば見るほど、ヒマラヤ山脈—世界で一番高い山脈に似ているように感じます。日差し、雲、天気次第、まだ今まで気づかなかった三原山の面はよく見えてきます。だったら、八丈富士は？ どちらかというと八丈富士より三原山の方が私の目を引きまます。その理由は三原山にまだ登ったことがないからかもしれません。

リトアニアには山がありません。勿論、山を登ることもできません。しかし、人は山がないことに違和感を感じません。元々ないものに対して恋しく、懐かしくならないでしょう。しかしながら、年に一回だけ、冬の季節がくると、多くの人々が山が恋しい気持ちになります。それはリトアニア人は山でスキーをすることが好きだからです。毎年、休みを取って、海外の山がある国まで行って、一週間もずっとスキーするパターンが珍しくないです。そして、スノーボードではなく、スキーが一番有名です。というわけで、山と言えば、スキーのイメージは第一です。山登りする概念はリトアニア人の中でほとんどありません。八丈島に来たら、いつでも山登りができることにわくわくしていました。

私が日本で初めて登った山は広島県宮島の弥山でした。535mの山で、そんなに高くないかもしれませんが、準備なしで登ろうとした初めての山としては、とてもチャレンジがある山でした。山登りは、事前準備と仲間が必要なものだとなりました。弥山の他には、奈良県の吉野山、東京都の高尾山、大分県の祖母山も登ったことがありました。どんな山であろうと、山頂まで行くと達成感ときれいな風景だけでなく、山を登る旅に自分も成長しているように感じます。

山は神が宿る場所だと言われていますね。八丈富士と三原山を見たら、昔の島人もこの二つの火山を礼拝してきたのではないかと思います。強くって、テコでも動かなくて、上から世界を眺める山。そんな山と一緒に住んできた皆さんは両方の山を見たらどんな気持ちになりますか？ 私は「あって良かった」と思います。あとは、「三原山登りたい!」です。

では、またね！ IKI!

■問い合わせ■

企画財政課企画情報係 電話 2-1120

町ホームページでAstaの日記を更新しています。ぜひ見てください！



国際交流員のページ